

平成23年政事業レビューシート

(環境省)

事業名	流域視点からの硝酸性窒素対策推進費		担当部局	水・大気環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H23年度～H24年度		担当課室	土壌環境課 地下水・地盤環境室		室長 宇仁菅 伸介	
会計区分	一般会計		施策名	3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境基本法第15条、16条 地下水の水質汚濁にかかる環境基準について (平成9年環境庁告示第10号)		関係する計画、通知等	環境基本計画 第二部今四半世紀における環境政策の具体的な展開 第2章環境保全施策の体系 第1節環境問題の各分野に係る施策3水環境、土壌環境、地盤環境の保全			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	硝酸性窒素による地下水汚染は、一般に広範囲で汚染原因が多岐にわたり、他の窒素形態からも生成されることから、地域の窒素負荷低減策を進める取組が重要であるが、地下水の水質は、窒素負荷量だけでなく、当該流域の水の流量、窒素形態の変化により影響を受けることから、これらと対策地域における負荷低減対策、及び評価地点における硝酸性窒素濃度の低下との関連性などの汚濁機構を解明することにより、より効果的な対策の技術的手法を明らかにしていく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地下水汚染の最も多い原因が施肥(窒素肥料)であるが、窒素は農業生産において、必須元素の一つである等のため、現行水質汚濁防止法の規制的手法では限界がある。汚染原因毎の実効性ある対策促進策の検討及び地下水の流量や窒素形態の変化と評価地点での硝酸性窒素濃度の関連性を調査、整理することにより、効果的な技術的手法を明らかにしながら農業関係者のインセンティブを高め、同時に硝酸性窒素対策に繋がるような制度を検討・構築する必要がある。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算				10	10
		繰越し等				0	
		計				10	10
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	調査検討業務であり、数値で定量的に示せない		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査検討業務であり、数値で定量的に示せない		活動実績 (当初見込み)			()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	10	10				
	計	10	10				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>事業の有益政から要求を認めるが、必要最低限度の要求額となるよう精査すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					